

一 般 仕 様 書

- 1 作業実施に当たっては、すべて誠意をもって実施し、仕様書及び図面に疑義のあるときは、町に申し出て、その指示を受ける。
- 2 作業実行のための諸施設及び労働者の管理については、労働関係法規その他法令の定めるところに従い違反しないこと。特に労働災害防止対策の徹底とともに、労働災害発生時等の緊急時に的確、迅速な措置をとることができる体制を整えておく。
- 3 作業地内の火災予防並びに、山火事防止に万全の措置を講ずる。
- 4 作業中に事故等が発生した場合は、直ちに町に報告すること。
- 5 作業終了に際しては、町の指示に従い作業現場の片付けを行う。
- 6 本作業の実施に当たり、仕様書に明記されていない事項は、受託者において実施し、その費用は受託者の負担とする。

保 育 間 伐 作 業 仕 様 書

- 1 委託場所は、下表及び施業図のとおりとする。

対図 番号	大字	字	地番	施業面積
①	勝賀瀬	上産屋谷	3588-3	0.55ha
②	勝賀瀬	上産屋谷	1165	0.50ha
③	柳瀬石見	中澤	1537	0.79ha
④	柳瀬石見	中澤	1539	0.47ha
合 計				2.31ha

- 2 完了期限は、令和7年3月21日までとする。

- 3 業務実施に当たっては、町と打合せを行い、その都度記録し、相互に確認すること。

- 4 間伐木は、存置しても価値の向上が期待できない損傷木、曲がり木、二又木等の形質不良木等から選木伐採するものとする。

なお、造林木の成長を阻害しているもの及び造林木の成長を阻害する恐れのある雑木類は、間伐の対象とする。

- 5 本数伐採率は、おおむね30%とする。

- 6 間伐木の選定に当たっては、残存木の樹冠配置を考慮し、林分を著しく疎開することのないように留意する。

- 7 間伐木の伐採高は、作業能率及び今後の間伐作業等との関連を考慮し、おおむね60cm以下とする。

- 8 伐倒する場合は、必要に応じて受口を切り、伐倒方向は原則等高線上となるよう留意し、他の造林木を損傷しないように留意する。

- 9 伐倒した間伐木は、残存木に伐りかけたまま放置することなく、地面に引き落としておくようにする。

- 10 植栽木に巻きついている蔓茎類は、根元から切り離しておくこととする。

- 11 施行前・後の状況が比較できる写真（筆毎に2箇所以上。）を同じ位置から撮影すること。

- 12 その他作業実行に当たって疑問のある場合またはこの仕様書により難しいことが生じた場合は、町に申し出てその指示を受けること。